
石卷市社会福祉協議会
創立10周年記念誌

社会福祉法人
石卷市社会福祉協議会

目次

挨拶

石巻市社会福祉協議会会長	大槻英夫	2
--------------	------	---

祝辞

石巻市長(社協顧問)	亀山紘	3
石巻商工会議所会頭(社協顧問)	浅野亨	4
石巻市議会議長	安倍太郎	5
宮城県社会福祉協議会会長	鈴木隆一	6

年表

合併協定書等	7
10年のあゆみ	8
東日本大震災について	12

事業紹介

総務課	14
地域福祉課	15
在宅福祉課	18
ボランティアセンター	20
復興支援課	22

資料編

組織図	23
歴代役員一覧	24
数字で見る社会福祉協議会	27

創立10周年を迎えて



社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会

会長 大槻 英夫

石巻市社会福祉協議会は、平成17年4月石巻圏域1市6町の市町合併に伴い、新たな石巻市社会福祉協議会として発足し、本年、10周年という節目を迎えるに至りました。

本日は、この10周年記念式典と合わせて第1回社会福祉大会を開催することとした次第です。

この間、当会が地域福祉の充実・発展に大きく寄与することができましたのも、ひとえに市民の皆様方をはじめ行政等の関係機関のご支援・ご協力の賜と深く感謝申し上げます。

現在、わが国は少子高齢化社会となっておりますが、当市におきましても同様で、高齢化率は30パーセントに近い状況となっており、併せて核家族化も進行してきている中、東日本大震災により多くの方が甚大な被害を受け、住み慣れた地域を離れることを余儀なくされました。

本会といたしましては、誰もが住み慣れた地域で人としての尊厳を持ち、安全で安心して生活ができる社会の構築のため、「地域福祉活動計画」に基づき、地域福祉事業、在宅福祉事業、障害者自立支援・相談事業、大震災復興支援事業等々、子どもから高齢者まで幅広い分野での福祉活動を展開してきております。

特に、震災時には災害ボランティアセンターに取り組み、震災後は仮設住宅や復興公営住宅入居者の事故防止のための見回りをはじめ、新たなコミュニティ構築の支援と高齢者の孤立予防に向けて復興支援課を設置し、更にはボランティアセンターの独立と地域福祉コーディネーターの採用や、福祉フォーラムの開催、地域サロン活動への支援等のほか、高齢者世帯への安心カードの設置事業にも取り組むなど、多岐にわたる事業の充実を図って参りました。今後とも地域社会のニーズに的確に responding できるよう、一層の努力を重ねて参ります。

創立10周年という記念すべき年を契機として「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、「地域包括ケアシステム」などの様々な課題に対して、当会の果たすべき役割を見据えながら役員並びに職員一同、各種事業の更なる充実と全力を傾注して参る所存でございますので、石巻市をはじめ、皆様方の一層のご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、ますますのご健勝とご多幸、ご活躍をお祈り申し上げます。挨拶といたします。

創立10周年を祝して



石巻市長

(社協顧問) 亀山 紘

石巻市社会福祉協議会が創立10周年を迎えられましたこと、心からお喜び申し上げます。貴会がこれまで地域福祉の充実において、躍進を続けてこられましたのは、会長を始め役員や職員各位のご努力によるものであり、改めて敬意と感謝の意を表します。

さて、平成17年4月、平成の大合併により「新石巻市」が誕生し、それに歩みを合わせ貴会も新たな「石巻市社会福祉協議会」を発足し、これまでの歴史を継承しながら数々の輝かしい業績を積み重ねているものと認識いたしております。

こうした中、未曾有の災害となった東日本大震災により、本市の行政機能も著しく混乱を来とし、同時に多くの市民の「あたりまえの暮らし」が不安や困惑を強いられることとなりました。この厳しい現状から、一日でも早く復旧・復興が成し遂げられるよう、官民一丸となって事業を推進しているところでございます。今さら申すまでもなく、貴会のこれまでの御支援、御協力があったこそ「快適で住みやすく夢や希望が実現するまち」を再生することができるものと確信いたしております。

今後、新市街地の形成や防災集団移転事業の進行に伴い、地域コミュニティの希薄化や高齢者世帯の孤立等、社会福祉を取り巻く環境も大きく変化していくものと思慮いたしております。この状況に対応するため、本市といたしましては、「石巻市地域福祉計画(第二期)」の基本理念であります、『いつも自分らしく生きるために、みんなで支えあう地域づくり』を目指して、公助・共助・自助が相互に働きあう地域福祉活動の推進に向け、取り組んでいくこととしております。

あわせて、本市における「地域包括ケアシステム」の実施計画に掲げてある、『地域でいつまでも、自分らしく暮らせる、石巻をめざして』の充実を図るため、医療・介護・地域コミュニティ等と協働して支援体制を構築することを、重点施策と位置づけているところです。

これら施策の実現に当たっては、貴会で培ってきたノウハウが必要不可欠であり、これまで以上の連携強化を図って参りたいと考えるものでございます。

結びに、本記念誌発刊を契機に、貴会が更に力強い一歩を踏み出されますよう御期待申し上げますとともに、関係各位の御健勝をお祈りいたしまして、御祝いの言葉とさせていただきます。



創立10周年を祝して



石巻商工会議所会頭

(社協顧問) 浅野 亨

石巻市社会福祉協議会の創立10周年を心からお祝い申し上げます。

平成17年に平成の大合併により石巻市と周辺の河北町、雄勝町、河南町、桃生町、北上町、牡鹿町の6町が合併し、新しい石巻市が誕生したことに伴い、各行政にあった社会福祉協議会も合併し、石巻市社会福祉協議会として新たに石巻市の社会福祉と福祉のまちづくりを担う組織としてスタートしました。

この10年間の活動では、石巻市の社会福祉の増進を図るとともに介護福祉をはじめ地域の社会福祉のコーディネート事業など、多岐にわたる活動を行ってきたことが、多くの市民に対し石巻市社会福祉協議会の福祉活動が浸透してきたことと思います。

とくに、平成23年3月11日に発生した、東日本大震災では、地震とその後の津波により石巻市の沿岸部を中心に未曾有の被害を受けました。死者・行方不明者が約4千名、石巻市の13%(平野部の30%)にあたる73km²が浸水し、5万棟以上の家屋が被害を受け、ガレキも428万tと岩手県全体のガレキ処理量の73%と、石巻市は東日本大震災最大の被災地でありました。

そのような中、日本全国、世界各地から災害ボランティアとして、多くの個人や企業の方々が来石され、ガレキの撤去、被災者のホスピリティなど、石巻市の復旧・復興に尽力いただいたことに、市民の一人として、感謝する次第であります。とりわけ、石巻社会福祉協議会においては、災害ボランティアセンターとして、ボランティアの受入れ・登録、ボランティア活動のニーズの確認と円滑な派遣など、3年間にわたり中心的な活動をされたことに、敬意を表する次第であります。

わが国も「人口減少時代」を向かえ、今後、さらに少子高齢化が顕著に進展していくことから、介護事業をはじめ福祉事業のネットワークの構築など、社会福祉事業の充実がますます重要になってくるものと思われ、石巻市社会福祉協議会が果たす役割が高まっていくものと確信いたしております。

そのようなことから、子どもから老人まで誰もが安心して暮らせる街づくりが重要であり、当商工会議所や石巻市が中心となって取り組んでいる「中心市街地活性化計画」では、住む人に優しいコンパクトな街づくりに取り組んでおることから、石巻市社会福祉協議会においても協調した街づくりをお願いするものであります。

最後に、石巻市社会福祉協議会が今後も石巻市の社会福祉の中心的な役割りを担うとともに、役職員の皆様のますますのご活躍とご健勝を祈念申し上げます。

創立10周年を祝して



石巻市議会議長

安倍 太郎

石巻市社会福祉協議会が創立10周年を迎えられましたことに対し、石巻市議会を代表いたしまして、心からお祝いを申し上げます。

貴協議会は、平成17年4月1日に石巻圏域1市6町の行政合併と合せて、新たな石巻市社会福祉協議会として誕生し、このたび10周年を迎えられました。

これまで、住民と福祉行政のパイプ役として、福祉のまちづくりに向けて、長年にわたり地域での福祉事業を推進されましたことは、会長をはじめ、地域福祉を支える会員の皆様、さらには役員の皆様の尽力のたまものと深く敬意を表するものであります。

また、東日本大震災の際には、災害ボランティアセンターの設置・運営を担っていただきましたが、発災前からの研修や訓練などの準備もあり、全国各地から集まった多数のボランティアの受付・派遣の調整など、これまで経験したことのない大規模なボランティアセンターを役職員が丸となって円滑に運営され、さらに、現在は仮設住宅での見守り支援などの被災者支援事業を行っていただいておりますことに、深く感謝を申し上げます。

さて、本市をとりまく環境は全国の例にもれず、少子高齢化が急激に進展し、市民の地域福祉に対するニーズは複雑・多様化しております。また、東日本大震災の復旧・復興に伴い、仮設住宅やみなし仮設住宅から復興公営住宅等への入居が本格化することにより、新たな地域コミュニティの構築が急務となっております。

そのような中、貴協議会では、平成25年度に「第2次地域福祉活動計画」を策定し、人と人の絆を大切に、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を基本に、地域コミュニティの構築に向けた活動を展開していくとお聞きしております。今後とも、市民福祉の充実、向上のため、変わらぬご協力をお願いするところであります。

結びに、このたびの創立10周年を節目として、貴協議会が今後ますますご発展されますことをご期待申し上げますとともに、関係各位のご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



創立10周年を祝して



社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会

会長 鈴木 隆一

このたび、石巻市社会福祉協議会が創立10周年を迎えられましたこと、心からお喜び申し上げます。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、石巻市では甚大な被害が発生し、今なお多くの市民の皆様が県内外での避難生活を余儀なくされております。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

石巻市社会福祉協議会におかれましては、震災直後から災害ボランティアセンターを設置・運営し「被災者主体」の支援を行うとともに、民生委員・児童委員、共同募金会等、社会福祉関係者との連携、協働のもと「孤立・孤独化の防止」に向けて、仮設住宅や災害公営住宅入居者への支援、見守り活動や生活支援活動に取り組んでこられました。行政との協働を進め、新たなコミュニティの中での支え合いを構築しようとするこれら一連の活動は、今年6月、第12回 日本地域福祉学会で地域福祉優秀実践賞を受賞するなど高く評価され、改めて関係者の皆様のご尽力に対し、深く敬意を表する次第です。

さて、近年の少子高齢化、人口減少社会の到来、家族や地域社会の変革等、社会福祉を取り巻く環境は大きく変化し、福祉ニーズは多様化・複雑化しております。こうした情勢を踏まえ、石巻市における地域福祉の中核的機関である石巻市社会福祉協議会では平成25年に「第2次 地域福祉活動計画」を策定し、行政、社会福祉関係者、住民・ボランティア等と協働し「誰もが安心して暮らせる地域づくり」を推進してきたところであり、多くの市民からその活動への賛辞が寄せられ、今後のより一層のご活躍が期待されております。宮城県社会福祉協議会といたしましても、今後とも石巻市社会福祉協議会との連携を一層強化し、各種福祉施策の推進に努めてまいり所存であります。

結びに、東日本大震災からの一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げますとともに、貴会が掲げる基本理念「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりをめざして」の実現に向けて一層ご発展されることを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

合併協定書



※協定書の内容は省略

設立当初役員

任期 平成17年4月1日～平成17年5月31日

	役 職	氏 名	選 出 社 協
1	会 長(理事)	高 橋 興 治	旧石巻市社会福祉協議会 会長
2	副会長(理事)	高 橋 國 雄	旧河北町社会福祉協議会 会長
3	副会長(理事)	佐々木 治	旧河南町社会福祉協議会 会長
4	副会長(理事)	佐 藤 治	旧牡鹿町社会福祉協議会 会長
5	理 事	佐々木 勝 治	旧雄勝町社会福祉協議会 会長
6	理 事	平 塚 基 一	旧桃生町社会福祉協議会 会長
7	理 事	佐 藤 義	旧北上町社会福祉協議会 会長
8	理 事	渡 辺 祐 光	旧石巻市社会福祉協議会 副会長
9	理 事	佐 竹 典 雄	旧河北町社会福祉協議会 副会長
10	理 事	高 橋 仁 夫	旧雄勝町社会福祉協議会 副会長
11	理 事	窪 田 壯 一	旧河南町社会福祉協議会 副会長
12	理 事	阿 部 昭 司	旧桃生町社会福祉協議会 副会長
13	理 事	今 野 雄 一 郎	旧北上町社会福祉協議会 副会長
14	理 事	遠 藤 良 吉	旧牡鹿町社会福祉協議会 副会長
15	理 事	後 藤 正 信	旧牡鹿町社会福祉協議会 副会長
1	監 事	武 者 賢 三	旧石巻市社会福祉協議会 副会長
2	監 事	池 田 強	旧河南町社会福祉協議会 副会長
3	監 事	遠 藤 靖 二	旧桃生町社会福祉協議会 副会長

石巻市社会福祉協議会設立 平成17年4月1日
 法人認可 平成17年1月14日

合併協定書など

法人設立・認可年月日一覧

旧社協名	設立年月日	法人認可年月日
石巻市社会福祉協議会	昭和26年3月28日	昭和43年3月27日
河北町社会福祉協議会	昭和42年3月28日	昭和42年3月31日
雄勝町社会福祉協議会	昭和61年3月31日	昭和61年5月16日
河南町社会福祉協議会	昭和52年8月27日	昭和52年8月22日
桃生町社会福祉協議会	昭和61年4月1日	昭和61年2月25日
北上町社会福祉協議会	昭和61年6月20日	昭和61年7月9日
牡鹿町社会福祉協議会	昭和61年5月15日	昭和61年3月31日

社会福祉法人石巻市社会福祉協議会 10年のあゆみ

年 度	主な事業の動向	
平成17年度	4月	1市6町の社協が合併し、新たな石巻市社会福祉協議会が誕生 (石巻・河北・雄勝・河南・桃生・北上・牡鹿の7支所を組織)
	5月	石巻市民生委員児童委員協議会総会開催(単位民児協16地区を組織)
	6月	新たに役員(理事・監事)を選任し、会長・副会長を選出 顧問を委嘱
	7月	福祉作業所等の委託・運営に対する検討会を設置
	9月	宮城県知事、石巻市長と3者の災害ボランティアセンター覚書締結
	12月	デイサービスセンター福寿荘(渡波旭ヶ浦)隣地を購入 渡波地域包括支援センター設置のため、福寿荘車庫を改装
	3月	石巻市基幹型在宅介護支援センターの廃止(受託業務終了) 基金等の規程を制定 石巻・女川地区遺族会連絡会設立(新石巻市に女川町を加えた)
平成18年度	4月	渡波地域包括支援センターの管理運営を受託 住吉在宅介護支援センターの管理運営を受託 石巻市老人クラブ連合会設立(合併による) 災害対策要綱・災害ボランティアセンター設置要綱の施行
	5月	石巻市身体障害者福祉協会設立(合併による)
	6月	小規模作業所【みどり園・かしわホーム・はまなす作業所・希望の里】の地域活動 支援センター移行への検討を開始
	9月	苦情解決実施体制の整備
	10月	北上支所で災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施
	1月	ボランティア交流研修会の開催
	3月	災害ボランティアフォーラム・福祉協力員研修会の開催

10年のあゆみ



合併協定調印式「石巻かほく2004年11月25日付け掲載」



H17 新社会福祉協議会の看板設置



H18 災ボラ設置訓練 北上支所にて



H19 みどり園開所式



年 度	主な事業の動向	
平成19年度	4月	石巻市障害者地域活動支援センターみどり園の設置経営 石巻市障害者地域活動支援センターかしわホームの設置経営 (はまなす作業所・希望の里は、かしわホームの分場として設置)
	6月	高橋興治会長が県社協理事に就任
	11月	地域福祉活動計画作成に着手
	12月	石巻ブロック民生委員児童委員協議会発足(石巻市・東松島市・女川町)
	2月	福祉協力員研修会の開催
	3月	災害ボランティアフォーラムの開催 地域福祉活動計画作成 【計画期間 20年度～23年度までの4年間】
	平成20年度	4月
6月		社協会費の統一に向けて、会費検討部会を設置 岩手・宮城内陸地震被災地(栗原市)へ職員派遣
7月		ウェブサイト運営プロジェクトチームを立上げ、情報提供の開始
8月		ボランティアスクールの充実
10月		共同募金の戸別募金目標額を全市的に統一
11月		世代間交流事業の充実
12月		歳末たすけあい募金の戸別募金の廃止・個人への歳末見舞金の配分を廃止 (児童等への配分を充実)
3月		災害ボランティアフォーラムの開催
平成21年度	4月	県社協と地域福祉サポートセンター、日常生活自立支援事業を受託契約 会員規程の改正、社協会費を全市的に統一
	5月	介護業務管理・請求システム統一のための専門チームの設置
	6月	福祉協力員感謝状贈呈式並びに委嘱状交付式の開催
	8月	兵庫県佐用町の水害被災地へ職員派遣
	10月	法令遵守規程の制定 介護職員へ処遇改善手当の支給
	1月	国税調査官の立入調査(消費税関係)
	2月	災害ボランティアフォーラム、災害ボランティア設置訓練を実施(石巻専修大学)

10年のあゆみ



H20 夏ボラ体験



H21 福祉協力員感謝状贈呈式



H20 街頭募金の様子



年 度	主な事業の動向	
平成22年度	6月	団体会計使途不明金に係る理事会の開催(関係職員の処分・会長が市民に陳謝)
	7月	通所介護事業所の給食サービスを外部委託
	9月	金銭取扱いに係る事故防止策、アクションプランの策定
	10月	介護業務管理・請求システムを統一導入 雄勝と北上の居宅介護支援事業所を統合し、介護プランセンター雄勝北上を設置
	3月	東日本大震災発生 本所ほか各施設で浸水による被害があり、雄勝支所・はまなす作業所は全壊流出 石巻市災害ボランティアセンターを石巻専修大学内に設置(~11月末日) 全国からのボランティアの受入、泥出し等のボランティア派遣に従事
平成23年度	4月	社協業務を全面休止、会費依頼は見送り 指定管理業務、生きがいデイサービス等の委託業務は停止 石巻災害復興支援協議会発足に伴い連携を図りながら被災者支援を実施
	5月	理事会、評議員会開催(石巻専修大学にて)役員改選期であるも全員留任に決定
	6月	介護保険、障害者施設等の社協業務の一部再開
	7月	理事会、評議員会において22年度事業報告・決算、23年度事業計画・予算を提案、承認 災害復興支援対策課・仮設住宅入居者等支援事務所を新設
	8月	応急仮設住宅管理運営業務の受託
	9月	ささえあいセンター管理運営業務の受託 仮設住宅支援員173名を委嘱
	12月	災害ボランティアセンターを石巻専修大学から明友館に移転
	3月	共同募金会助成金で災害ボランティアセンター活動拠点(プレハブ事務所)を建設・設置
平成24年度	4月	震災による休止業務・会費依頼を再開 デイサービスセンター福寿荘(建物)を市から無償譲渡 仮設住宅入居者のコミュニティ支援のため県社協から派遣職員を受入
	7月	本所移転に関する要望を市に提出
	9月	福祉まつりの再開(毎年開催、震災により一時休止)
	10月	第2次地域福祉活動計画作成に着手 応急仮設業務の個人データ紛失に係る理事会の開催(関係職員の処分)
	12月	災害活動支援基金を設置 福祉フォーラムの開催
	2月	ボランティア交流会の開催

10年のあゆみ



H24 福祉まつり再開



H25 地域サロン活動講習会(ボラセン)



年 度	主な事業の動向	
平成25年度	4月	第2次地域福祉活動計画を作成 【計画期間 25年度～29年度までの5年間】 みどり園・かしわホームを就業継続支援B型施設に移行 (地域活動支援センターは継続) 地域福祉コーディネーターを7名配置(後に10名) 地域福祉アドバイザーを4名配置
	5月	河北・雄勝・北上の訪問介護事業所を統合し、北部地区ホームヘルパーセンターを設置
	7月	ひとり暮らし高齢者等安心カード事業開始
	10月	経営基盤強化計画(財政計画)を作成 ボランティアセンター設置運営規程の制定
	11月	特定相談支援事業所すまいるの設置
	2月	福祉フォーラムの開催
	3月	デイサービスセンターはまぎくを廃止 石巻市災害ボランティアセンターを閉鎖 「石巻市災害ボランティアセンター事業報告書」発行
平成26年度	4月	ボランティアセンターを強化、独立組織として設置 石巻市・女川町基幹相談支援センターくるみの受託 復興公営住宅支援事業の受託
	5月	社協だよりを年4回から6回発行(支所だよりを廃止)に改正
	6月	県内社協における災害時相互支援協定の締結 ※県社協
	7月	地区座談会・サロン事業を開始
	11月	(株)かほく・上品の郷と隣地を賃貸借締結 福祉フォーラムの開催
	12月	災害ボランティアセンター設置運営規程の制定・施行
	3月	災害復興支援対策課を湊町一丁目地内(みなと荘)に移転

※定例の理事会・評議員会は記載省略
 ※合併や震災に伴う定款・諸規程の制定・改廃、また、職員給与等の処遇改善を実行
 ※石巻圏域(石巻市・東松島市・女川町)の基幹的社協を兼任
 ※震災後の全国各地の社協・大学等への講師派遣と民生委員協議会等の視察受入は述べ300団体以上



H25 地域福祉フォーラム



H26 災害時相互支援協定締結式



H26 遊びリセッション(蛇田)

10
年
の
あ
ゆ
み

東日本大震災について

〈災害ボランティアセンター〉

平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」は甚大な被害をもたらし、尊い命を奪い、あらゆる分野に大きな打撃を与えました。本会においては「石巻市災害ボランティアセンター」を設置し、被災市民の支援活動に従事いたしました。

本会では、合併当初から宮城県沖地震の発生を予見し、被災地へ職員を派遣し運営のための経験を積み、災害ボランティアフォーラムの開催や災害に備えた職員訓練を行い、さらに、平成17年9月に宮城県、石巻市、本会の三者で交わした大規模災害時における「災害ボランティアセンターの設置・運営に関する覚書」と、震災前から設置場所を「石巻専修大学」とすることで協議を進めてきたことにより、円滑なボランティアの受入・派遣に繋げることができました。

運営については、宮城県社会福祉協議会や全国社会福祉協議会の調整のもと、全国各地の社協職員の派遣をいただき、特に、関西・四国ブロック社協と「大崎市社会福祉協議会」からは、約半年間に亘り運営に協力をいただきました。

また、支援団体の声がけにより、「NPO・NGO支援連絡会」(後の石巻災害復興支援協議会)が立ち上がり、連日の話し合いや調整のもと、一般のボランティアとNPO・NGO団体とに分け、役割分担をして対応にあたりました。この効果は大きく、全国さまざまな個人・団体・企業等から多くの支援をいただき、延べ約30万人の方々にボランティア活動をして頂きました。

◆災害ボランティアセンターでのボランティア実績数

11万6,670名
(平成25年3月末現在)

◆連携団体等登録数342団体

17万2,693名
(平成24年8月末現在)



震災直後の市内



ボランティアのテント(石巻専修大)



ボランティアセンター受付の様子



ボランティア活動



〈地域福祉コーディネーターの配置〉

市内に10名を配置し、仮設住宅等入居者への支援はもとより、地域におけるコミュニティ支援活動を展開しています。市担当者や各専門機関・NPO等支援団体と連携し、また、各自治会の方々や民生委員児童委員と協力し、担当地域における福祉課題の解決に向け、福祉の専門職として地域に根ざした活動を進めています。

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図りながら、地域福祉コーディネーターを中心にした地域福祉活動を今後も進めて参ります。

〈復興公営住宅入居者支援と地域コミュニティ再生へ〉

平成26年4月に石巻市から「復興公営住宅入居者支援業務」を受託し、仮設住宅等から復興公営住宅へ入居する方々への移行支援業務を行っています。また、既存地域との結びつきが図られるよう交流事業等への参加協力も進めています。復興公営住宅を含めた新たな地域コミュニティ形成が進む中、互助・共助の地域の支えあい活動支援を進めています。

◆復興公営住宅入居世帯数・・・・・・・・・・・・・・・・354世帯(平成27年3月末現在)



大量の土のう袋



市民とボランティアとのふれあい



仮設住宅の集会所にて



仮設住宅を訪問する支援員

事業紹介

社会福祉協議会は社会福祉法に位置づけられており、地域の住民やボランティア、保健、医療、福祉等の関係者、行政機関の協力を得て、ともに福祉のまちづくりをめざす法人です。

本会は『誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり』を基本理念に、各種の社会福祉事業を行っています。

(平成27年4月1日現在)

総務課

法人運営事業

＜目的＞ 社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的とする。

＜内容＞ 目的を達成するための事業の企画及び実施など。役員・評議員及び各種委員の任命、定款及び諸規程の制定及び改廃、所属長会議など。法人全体の円滑な運営のため、各課・支所・部署の連絡調整等を行う。

理事会・評議員会

＜内容＞ 定例年4回開催

地域福祉推進委員会

＜目的＞ 各地区における地域福祉活動を推進する。

＜内容＞ 支所ごとに年2回程度開催

社協会員会費

＜目的＞ 会員の募集及び会費の協力依頼・管理を行う。

＜内容＞ 本会の設置目的に賛同して入会する個人及び団体

寄附金品の收受・管理

＜内容＞ 寄附金品を受け入れ、地域福祉向上のため適切に活用する。

社協だより



寄付金配分委員会

＜目的＞ 個人又は団体等から寄付された現金を公正かつ、効果的に配分する。

＜内容＞ 会長の諮問に応じ、寄付金の配分に関して必要な事項を審議する。

財務・労務・財産管理

＜内容＞ 法人会計の経理・財産及び基金、収入・支出金の取扱い、職員の労務及び服務、給与支給及び各種届出、福利厚生、研修、公用車及び備品管理、契約及び指定管理

各種計画の作成・進行管理

＜目的＞ 役職員の共通認識のもと、組織的・計画的に事業の推進を目指す。

＜内容＞ 地域福祉活動計画、経営・財政計画、各種計画の総合調整

広報事業

＜目的＞ 社協事業や活動、福祉情報の提供など地域への普及啓発

＜内容＞ 「いしのまき社協だより」全戸配布、ホームページの開設運用

共同募金事業への協力

＜内容＞ 石巻市共同募金委員会(事務局)の諸計画に基づき、共同募金活動の実施



共同募金活動

地域福祉課

地区座談会

- ＜目的＞ 市民の声を聴き、事業に反映させると共に、本会の理解を得る。
- ＜内容＞ 概ね2時間限度の職員出席
- ＜対象＞ 市民団体、町内会及び行政区の自治会、又は職域単位等



水押町内会で開催された地区座談会

出前講座

- ＜内容＞ 市民の申請に応じ職員を講師として派遣し、研修会や講座等を実施する。
- ＜対象＞ 市民又は市内に通勤・通学する方で構成する概ね10人以上の団体・グループ



介護技術についての出前講座

福祉フォーラム開催

- ＜目的＞ 生活をしていく上で、地域における諸問題について、その解決に向けてどんな取り組みが必要なのか、また、それぞれの地域での活動につなげるためにはどうしたら良いのか、を市民と共に模索する。



H26年度開催の福祉フォーラム

福祉協力員活動支援

- ＜目的＞ 地域福祉事業の円滑な運営を推進するため、福祉協力員を設置する。
- ＜内容＞ 町内会長(行政区長)並びに民生委員児童委員等と協力し、その地域内において福祉課題の把握に協力するなどの活動を行う。福祉協力員を対象に研修会を開催

あんしんカード設置事業

- ＜内容＞ 高齢者等が災害の発生や体調の変化により緊急事態が発生し、消防に救急出動を依頼する場合等に備えて、あんしんカードを自宅に保管する。
- ＜対象＞ 65歳以上のひとり暮らし高齢者世帯など



あんしんカードと専用容器

地域サロン活動支援事業

- <内 容> 市内で実施する地域サロンの主体的、自主的な活動を支援するため、本会がその活動を開始するための準備資金として、地域サロン活動支援事業助成金を交付する。
- <対 象> 自治会等を範囲とし、地域住民が主体となって地域サロン活動に積極的に取り組む団体



みんなで楽しい時間

フードバンク事業

- <内 容> 地域におけるサロン活動、地域交流事業に飲料品を無償提供する。
- <対 象> 市内に拠点を置く団体及び個人とし、地域住民との交流の場を企画する者。世代を超えて地域住民が自由に参加できる、参加者が概ね10名以上見込まれる活動、地域の住民が集える場所での活動(営利活動及び政治活動は除外)



パッケージ化した飲料品

子育て支援事業

- <内 容> 市内の子育てサークルが主体的、自主的な活動を行う場合、その活動を支援するため、子育てサークル活動支援助成金を交付する。
- <対 象> 市内に活動拠点を置くサークルで、地域の住民が集える場所で、参加者が概ね10名以上見込まれ、月1回程度開催する団体



子育てサークル「げんきっず」



子どもたちの笑顔がいっぱい

世代間交流事業

- <目 的> 同じ地域に住む高齢者・親と子が「一緒に遊び・楽しむ」ことで世代間の交流を図り、「共に支えあう地域づくり」を目指す。
- <内 容> 民生委員児童委員を中心に、自治会、福祉協力員、ボランティア、学校などたくさんの方々との協力を得て、昔の遊びを通して、地域の子供たちが大人や学生、他の学校の子供たちと交流を図っている。



世代間交流

福祉教育推進事業

＜目 的＞ 小・中・高等学校及び家庭や地域等における、児童・生徒の社会福祉に対する関心と理解を深めるとともに、思いやりと優しさを養うことを目的とする。

・福祉教育推進助成事業

＜内 容＞ 福祉教育に意欲的に取り組もうとする学校等に対し助成金を交付する。

・体験学習等事業

＜内 容＞ キャップハンディ体験等の物品貸与、職員派遣等

・福祉教育推進研修会

＜内 容＞ 学校等の福祉・ボランティア学習を推進するため、指導者等の研修会

＜対 象＞ P T Aと福祉団体関係者等

・福祉作品コンクール

＜対 象＞ 市内の小中学生

＜内 容＞ 夏休み期間中に児童・生徒の「優しさや豊かな心を育むこと」を目的に福祉作品の募集を行っている。



キャップハンディ体験(雄勝支所)

老人福祉事業

- ・ひとり暮らし高齢者等への給食サービス
- ・ひとり暮らし高齢者福祉のつどい(石巻)
- ・ひとり暮らし高齢者ふれあい昼食会(牡鹿)
- ・人生楽しみ会(河南)
- ・高齢者特別研修会(桃生)
- ・ひとり暮らし高齢者の集い(北上)



給食サービス(河南支所)

その他の地域福祉活動

- ・社協支部活動(河南・桃生・北上)
- ・声かけ郵便・生き生き教室・安心箱支給事業(牡鹿)



声かけ郵便(牡鹿支所) 絵てがみを届けます



地域交流会(桃生支所)

福祉団体等の事務取扱

各団体との事務委託契約に基づき支援を行っている。

- ・石巻市民生委員児童委員協議会
- ・石巻市老人クラブ連合会
- ・石巻・女川地区遺族会連絡会
- ・石巻市身体障害者福祉協会
- ・社会を明るくする運動石巻市推進委員会
- ・雄勝母子寡婦福祉会
- ・石巻市職親会(牡鹿)



石巻市老人クラブ連合会シニアスポーツ大会

在宅福祉課

紙おむつ等購入助成事業

- ＜内 容＞ 在宅で常時紙おむつを使用している対象児(者)へ、紙おむつ等購入費の一部を助成する。
- ＜対 象＞ 市内に住所を有し、在宅で概ね3ヶ月以上常時紙おむつ等を使用している方で、市民税合計30万円以下の世帯。要介護認定で、介護度「4」以上の方、重度心身障害者(児)で1級・2級身体障害者手帳、療育手帳A所持者(児)

福祉用具貸出事業

- ＜内 容＞ 在宅で介護を必要とする高齢者並びに障害を抱える家族を有する世帯に対し、福祉用具を貸出する。
介護用ベッド・車椅子等
- ＜対 象＞ 市内に在住し、居宅で生活しており、身体に障害を有する世帯並びに介護を必要とする世帯(高齢世帯等)原則として介護保険制度等該当者は除く



貸出用ベッド・車椅子

在宅高齢者等移動支援事業

- ＜内 容＞ リフト付ワゴン車・車椅子仕様軽自動車の貸出(河北)



リフト付きワゴン車「すまいる号」

生活相談事業

- ＜内 容＞ 市民の日常生活上におけるあらゆる相談に応じ、適切な援助を行う。

福祉貸付金事業

- ・生活福祉資金(生活復興支援資金)貸付
- ・生活安定資金貸付
- ・一時援護資金貸付

日常生活自立支援事業(まもりーぶ)

- ・石巻地域福祉サポートセンター設置運営
- ＜内 容＞ 認知症の方や障害(知的・精神)のある方を対象に、福祉サービス利用に関する相談・助言や、それに伴う日常的な範囲の金銭管理や生活変化の見守りを行い、地域において自立した生活を送れるよう支援する。
- ＜対 象＞ 主に住宅でひとり暮らしをされている認知症の方や障害(知的・精神)があり、日常生活を送るために必要な福祉サービスを利用するための情報の入手、理解、判断、意思表示を行うことが難しい方(判断能力が不十分な方)。

老人福祉施設等管理事業

- ・石巻市老人福祉センター「寿楽荘」指定管理受託
- ・石巻市河南老人福祉センター指定管理受託
- ・石巻市桃生地域福祉センター指定管理受託
- ・石巻市北上高齢者生活福祉センター「はまぎく」指定管理受託



寿楽荘将棋大会

介護予防事業

- ・生きがいデイサービス事業(石巻・河北・雄勝・河南・北上)
- ＜内 容＞ 居宅に閉じこもりがちな高齢者に対し、通所による生活指導等のサービスを提供する。
- ＜対 象＞ おおむね65歳以上の市民で、居宅に閉じこもりがちな方(介護認定要支援又は要介護状態と認定された者などは除く)
- ・生きがいと創造事業(河南)



生きがいデイサービス(北上支所)

居宅サービス事業

- ・地域包括支援センター
 - 石巻市渡波地域包括支援センター
 - 石巻市北上地域包括支援センター
- ・居宅介護支援
 - 石巻市社協介護プランセンター
 - 石巻市社協介護プランセンター渡波
 - 石巻市社協介護プランセンター河北
 - 石巻市社協介護プランセンター河南桃生
 - 石巻市社協介護プランセンター雄勝北上
- ・訪問介護
 - 石巻市社協ホームヘルパーセンター
 - 石巻市社協北部地区ホームヘルパーセンター
 - 石巻市社協ホームヘルパーセンター河南桃生
- ・通所介護
 - 石巻市社協デイサービスセンター福寿荘
- ・訪問入浴
 - 石巻市社協訪問入浴事業所河北
- ・就労継続支援B型事業・障害者地域活動支援センター
 - 石巻市社協みどり園
 - 石巻市障害者地域活動支援センターみどり園
 - 石巻市社協かしわホーム
 - 石巻市障害者地域活動支援センターかしわホーム
- ・障害者特定相談支援
 - 石巻市社協障害者相談支援事業所すまいる
- ・基幹相談支援センター
 - 石巻市・女川町基幹相談支援センターくるみ



訪問入浴(河北支所)



福寿荘デイサービス



かしわホーム創作活動



みどり園レクリエーション

ボランティアセンター

ボランティアセンター設置運営

- ＜目的＞ 市民のボランティア活動を推進し、地域における福祉コミュニティの形成を支援する。
- ＜内容＞ 本所・各支所にボランティアセンターを設置し、ボランティア団体の相談及び育成支援・連絡調整・情報の収集及び提供、ボランティアに関する調査研究及び普及啓発・養成及び研修等を行う。

ボランティアセンター運営委員会

- ＜目的＞ ボランティアセンターの円滑な運営と効果的な事業を推進する。

ボランティア講座・講習会

- ＜目的＞ ボランティアを始めたい方へのきっかけづくり、既に活動している方のスキルアップを推進する。
- ＜対象＞ 市内在住または市内で働いている方
- ＜内容＞ レクリエーション講座、体験講座「ちょいボラ」(高校生以上の学生対象)、地域サロン講習会、趣味の講座、ニュースポーツ講習、地域の担い手育成研修会など。



マジック講座



体験講座「ちょいボラ」



ボランティア交流会

ボランティア交流会・学習会

- ＜内容＞ ボランティアが集い交流を深めることで、互いのネットワークづくり、情報収集、自己研鑽等につなげる。
- ＜対象＞ 市内のボランティアまたは市内を活動拠点にしている個人・団体

ボランティア登録・活動調整

- ＜内容＞ ボランティア登録、各イベントや福祉施設への派遣調整、ボランティアサロンへの協力や24時間テレビチャリティ募金活動などへの協力。



24時間テレビチャリティ募金活動

福祉団体等活動助成

- ＜内 容＞ 福祉の向上を目的として活動している福祉団体並びにボランティア団体等に対して、活動に関する助成を行い、事業が円滑に推進できるよう支援する。
- ＜対 象＞ 市内の高齢者や障害者、児童等を対象とした事業を行い、地域福祉の向上を目的とした支援活動、生きがい活動等の事業を継続的に実施する団体、各ボランティアセンターに登録している団体、原則として活動の基盤が市内の団体(行政から助成を受けている団体、営利を目的とする団体、特定の個人または団体の利益にのみ寄与する団体、政治活動または宗教活動を目的とする団体は対象外)

ボランティア団体運営支援

- ・石巻市ボランティア連絡協議会
石巻福祉まつり
- ・ボランティア友の会(各支所)
- ・他機関事業への協力



福祉まつりの様子

ボランティア保険加入取扱

- ＜内 容＞ 本所および各支所において、宮城県ボランティア活動総合補償制度「ボランティア活動保険」への加入取扱

災害ボランティアセンター設置運営

- ＜目 的＞ 被災住民の救援活動のために、ボランティアの受け入れや、活動の効率的な運営を図ることを目的とする。
- ＜設 置＞ 石巻市の要請に応じ、市の指定した場所に設置する。

災害ボランティア登録

- ＜目 的＞ 災害発生時に自発的に支援活動を希望するボランティアが、災害現場において、迅速かつ効果的に救援活動が行えるように事前に登録を行い、併せて平常時より相互の連携と協働を支援する。
- ＜対 象＞ 登録しようとする年の4月1日現在で満15歳以上の方とし、18歳未満(ただし、学生の場合は18歳になる年度の末日まで)の場合は、保護者の承諾を得た方



災害支援活動



災害ボランティア講習会

復興支援課

ささえあいセンター管理運営

＜内 容＞ 地域福祉コーディネーターによる地域活動支援、ささえあい総括・拠点センターを活用した地域支援、地域住民や関係機関等と連携した地域再生活動、転入者と地域住民とを繋ぐ地域融和支援

応急仮設住宅・みなし仮設住宅管理運営

＜内 容＞ 仮設住宅・みなし仮設住宅等におけるセーフティネット及びコミュニティ支援、エリア主任・地域生活支援員による地域生活支援、要援護者の孤立予防活動

復興公営住宅支援

＜内 容＞ 復興公営住宅におけるセーフティネット及びコミュニティ支援、応急仮設住宅(みなし含む)から復興公営住宅への移行支援、エリア主任・地域生活支援員による地域生活支援

復興・災害支援ボランティア事業

＜内 容＞ 他機関への講師派遣(大震災時の災害ボランティアセンター運営等)、視察受入、ボランティア・NPO等の調整・支援、住民支え合い活動助成支援



あけぼの北復興住宅



地域の支えあいマップづくり

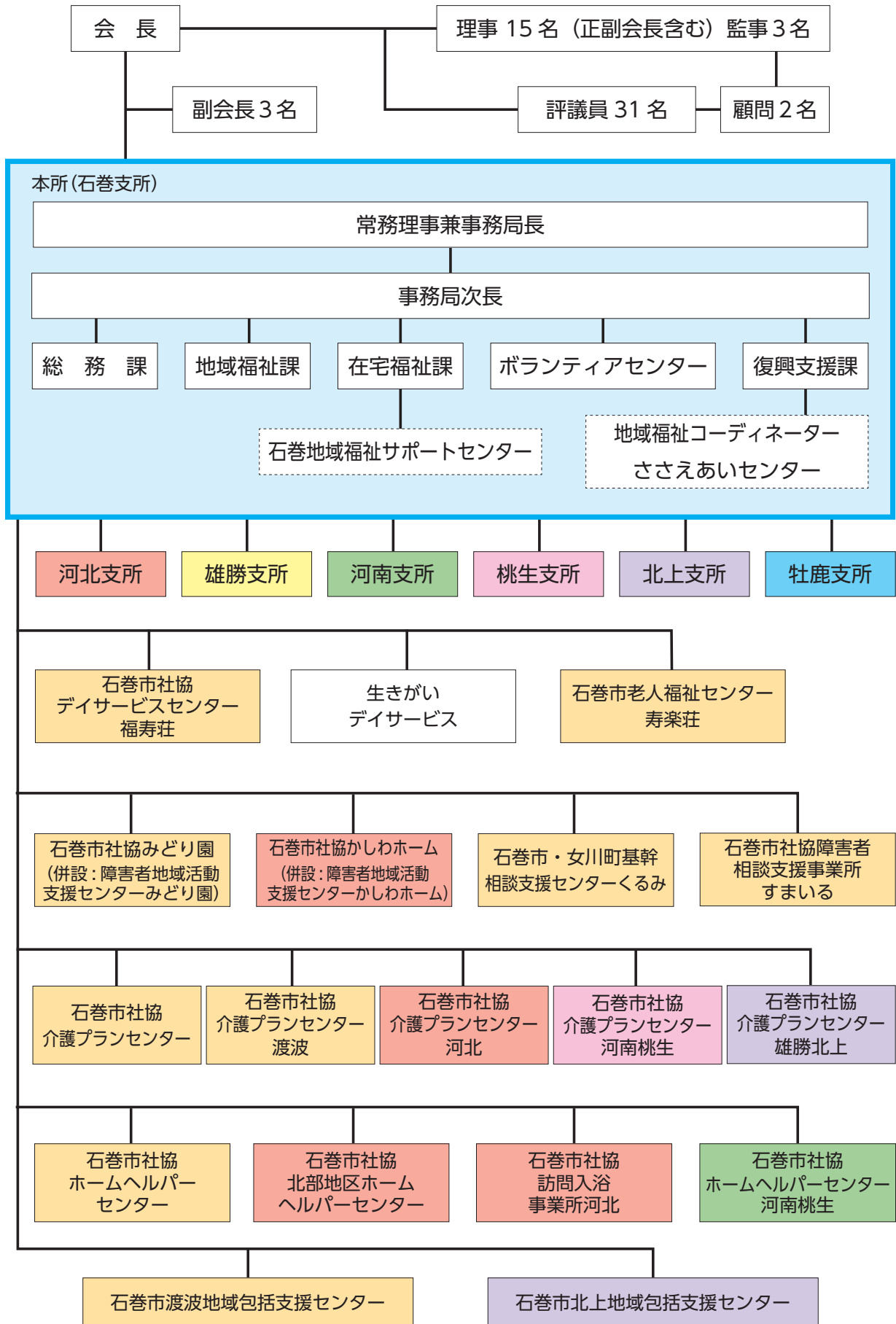


みなし仮設住宅への訪問活動



仮設住宅の子どもたちとボランティアとの交流

社会福祉法人石巻市社会福祉協議会 組織図 (平成27年4月1日現在)



組
織
図

歴代役員一覧(平成27年6月1日現在)

期	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期
任期	H17.6.1~H19.5.31	H19.6.1~H21.5.31	H21.6.1~H23.5.31	H23.6.1~H25.5.31	H25.6.1~H27.5.31	H27.6.1~H29.5.31
会長	高橋 興治	高橋 興治	高橋 興治	高橋 興治	高橋 興治	大槻 英夫
副会長	佐藤 治 佐々木 治 武者 賢三 (H17.11.28退任) 及川 衛 (H18.2.23就任)	佐々木勝治 遠藤 謙治 及川 衛	今野雄一郎 小出 正夫 及川 衛	今野雄一郎 小出 正夫 及川 衛 (H24.8.27退任)	阿部 勝治 中村 勝雄 吉田 忠美	阿部 勝治 中村 勝雄 吉田 忠美
常務理事	佐藤 滋 (H19.3.31退任) 村上 和郎 (H19.4.1就任)	村上 和郎	村上 和郎 (H22.3.31退任) 大槻 英夫 (H22.4.1就任)	大槻 英夫	大槻 英夫 (H27.3.31退任) 内海 正博 (H27.4.1就任)	内海 正博
理事	水澤富士江 大槻 英夫 (H18.5.28退任) 新妻 周俊 (H18.5.29就任) 須能 邦雄 佐竹 典雄 佐々木勝治 鈴木 興道 (H17.11.28退任) 遠藤 謙治 (H17.11.29就任) 佐藤 義 及川 衛 (H17.11.29就任) 山田 亮清 宮川 公子 青沼敬次郎 (H19.3.31退任) 狩野 建志 (H19.4.1就任)	水澤富士江 (H20.9.25退任) 近藤 孝 (H20.9.26就任) 大槻 英夫 (H20.3.31退任) 佐藤 章 (H20.4.1就任) 須能 邦雄 小出 正夫 佐々木 治 今野雄一郎 佐藤 治 山田 亮清 宮川 公子 狩野 建志 (H20.3.31退任) 山田 たき (H20.4.1就任)	近藤 孝 (H22.9.29退任) 櫻田 誠子 (H22.9.30就任) 佐藤 章 須能 邦雄 佐々木勝治 (H22.12.20退任) 中村 勝雄 (H22.12.21就任) 石川 順一 阿部 勝治 佐藤 治 山田 亮清 (H21.9.30退任) 高橋 仁夫 (H21.10.1就任 H22.12.20退任) 中村 保夫 (H22.12.21就任 H23.5.11退任) 阿部 洋子 (H23.5.12就任) 阿部 光彦 坂本 顕範	佐藤 清壽 (H23.7.27就任) 佐藤 章 (H23.7.26退任) 阿部 正博 (H23.7.27就任 H24.5.29退任) 内海 正博 (H24.5.30就任) 須能 邦雄 中村 勝雄 石川 順一 阿部 勝治 内海 良勝 (H23.7.27就任) 吉田 忠美 (H24.8.28就任) 阿部 洋子 阿部 光彦 菅原 秀幸 (H23.7.27就任 H24.3.31退任) 高橋 重光 (H24.4.1就任)	新妻 博 内海 正博 (H27.4.1就任) 庄司 勝彦 (H27.4.1就任) 須能 邦雄 千田 豊穂 齋藤 洋一 阿部 洋子 阿部 洋子 阿部 光彦 阿部 洋子 阿部 光彦 松川 幸代 神室 清孝 神室 清孝 松川 幸代	阿部 弘樹 庄司 勝彦 須能 邦雄 千田 豊穂 齋藤 洋一 鈴木 学 石森 彦一 阿部 洋子 阿部 光彦 亀山 栄記 阿部 良一 松川 幸代 松川 幸代 神室 清孝 阿部 良一 松川 幸代
顧問	土井喜美夫 浅野 亨	土井喜美夫 浅野 亨	亀山 紘 浅野 亨	亀山 紘 浅野 亨	亀山 紘 浅野 亨	亀山 紘 浅野 亨

歴代評議員一覧(平成27年4月1日現在)

期	第1期		第2期		第3期	
任期	H17.4.1～H19.3.31		H19.4.1～H21.3.31		H21.4.1～H23.3.31	
評議員	及川 衛 (H17.11.28退任)	川田 喜一 (H18.2.22退任)	後藤さきよ	小野寺善治郎 (H19.12.1就任)	後藤さきよ (H21.5.26退任)	佐藤 修一
	扇 忠和 (H17.11.29就任)	小松 健市 (H18.2.23就任)	千田 豊穂	畑山 貫梁	加藤登美子 (H21.5.27就任)	小野寺善治郎 (H22.12.20退任)
	小出 正夫	日野 一昭	小松 道男	石川 順一 (H19.11.30退任)	千田 豊穂	梶原 侃 (H22.12.21就任)
	小松 道男	畑山 貫梁	佐々木功子	亀井 嘉之 (H19.12.1就任)	小松 道男 (H21.5.26退任)	畑山 貫梁
	佐々木功子	石川 順一	今野 一男 (H19.5.29退任)	高橋 基	千葉 博 (H21.5.27就任)	亀井 嘉之 (H22.12.20退任)
	遠藤 謙治 (H17.11.28退任)	高橋 基	鈴木仁和中子 (H19.5.30就任)	小松 孝一 (H19.11.30退任)	佐々木功子 (H22.9.29退任)	黒瀬 宏 (H22.12.21就任)
	今野 一男 (H17.11.29就任)	小松 孝一	山内美恵子	小山 嘉明 (H19.12.1就任)	大沼さく子 (H22.9.30就任)	高橋 基 (H22.12.20退任)
	山内美恵子	大森 博	加藤 巳代	大森 博 (H19.11.30退任)	鈴木仁和中子	加藤 賢宗 (H22.12.21就任)
	加藤 巳代	阿部 淑子 (H17.5.31退任)	境 政幸 (H19.11.30退任)	小野喜代男 (H19.12.1就任)	山内美恵子	小山 嘉明
	境 政幸	鶴岡けい子 (H17.6.1就任)	金野日出春 (H19.12.1就任)	鶴岡けい子 (H20.9.25退任)	加藤 巳代	小野喜代男 (H22.12.20退任)
	林 久善 (H17.5.31退任)	本吉 哲子	中村 保夫	安原 悦子 (H20.9.26就任)	金野日出春	阿部みち子 (H22.12.21就任)
	中村 保夫 (H17.6.1就任)	後藤 春彦	岩渕 正治	本吉 哲子	中村 保夫	安原 悦子
	岩渕 正治	千葉 昭吉	志摩 茂郎	後藤 春彦 (H19.5.29退任)	岩渕 正治 (H22.5.27退任)	本吉 哲子
	志摩 茂郎	五十嵐初栄	保積 克彦	相澤 健一 (H19.5.30就任)	中島 昌子 (H22.5.28就任 H22.12.20退任)	松永 有一 (H22.3.29退任)
	保積 克彦	大橋巳津子	渡邊 征紀	千葉 昭吉	大内 勲 (H22.12.21就任)	千葉 郁雄 (H22.3.30就任)
	山田 亮清 (H17.5.31退任)	阿部 元信 (H17.5.31退任)	高橋 孝司	五十嵐初栄	志摩 茂郎 (H22.12.20退任)	千葉 昭吉
	渡邊 征紀 (H17.6.1就任)	柳田 正人 (H17.6.1就任)	千葉 幸一	大橋巳津子	伊藤 敏子 (H22.12.21就任)	五十嵐初栄
	高橋 孝司	安部 健彦 (H18.5.28退任)	四ノ宮嘉一 (H19.11.30退任)	柳田 正人 (H20.3.31退任)	保積 克彦	大橋巳津子
	千葉 幸一	阿部 元信 (H18.5.29就任)	木村 寅吉 (H19.12.1就任)	佐藤 和夫 (H20.4.1就任)	渡邊 征紀 (H21.12.20退任)	佐藤 和夫 (H21.5.26退任)
	四ノ宮嘉一		小松 健市 (H19.11.30退任)	阿部 元信 (H20.3.31退任)	阿部 洋子 (H21.12.21就任)	高橋 憲悦 (H21.5.27就任 H21.9.29退任)
			佐藤 修一 (H19.12.1就任)	高橋あゆ子 (H20.4.1就任)	高橋 孝司	飯盛 良拓 (H21.9.30就任 H22.5.27退任)
			日野 一昭 (H19.11.30退任)		千葉 幸一 (H22.12.20退任)	菅原 満 (H22.5.28就任)
					津田 榮一 (H22.12.21就任)	高橋あゆ子 (H21.5.26退任)
					木村 寅吉	金子 敬 (H21.5.27就任)

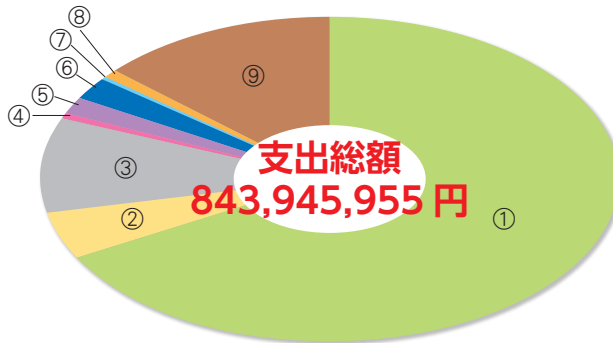
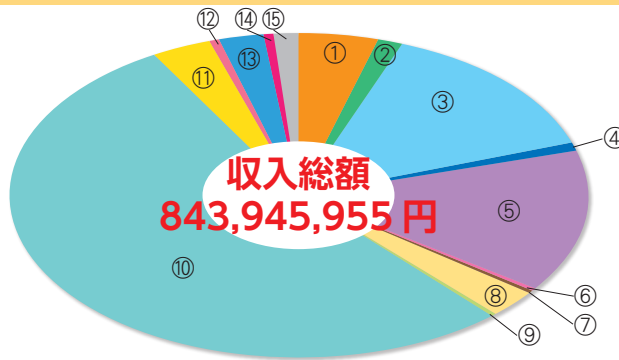
期	第4期		第5期		第6期	
任期	H23.4.1～H25.3.31		H25.4.1～H27.3.31		H27.4.1～H29.3.31	
評 議 員	加藤登美子	黒瀬 宏	加藤登美子	櫻井 美子 (H25.12.20就任)	加藤登美子	畑山 貫梁
	千田 豊穂	加藤 賢宗	佐藤幸太郎	畑山 貫梁	生出 竜哉	末永 晋
	千葉 博 (H23.12.21退任)	小山 嘉明	秋山 喜弘	黒瀬 宏 (H25.12.19退任)	秋山 喜弘	須田 正美
	秋山 喜弘 (H23.12.22就任)	阿部みち子	大沼さく子 (H26.3.24退任)	末永 晋 (H25.12.20就任)	菅原よしゑ	藤原 藤夫
	大沼さく子	安原 悦子	菅原よしゑ (H26.3.25就任)	加藤 賢宗 (H25.12.19退任)	加藤 賢宗	阿部みち子
	鈴木仁和子 (H23.12.21退任)	本吉 哲子 (H25.3.31退任)	伊藤たか子	須田 正美 (H25.12.20就任)	阿部 喜治	安原 悦子
	伊藤たか子 (H23.12.22就任)	窪木 好文 (H24.3.28退任)	鈴木 学	藤原 藤夫	加藤 巳代	菊地きいこ
	山内美恵子 (H23.12.21退任)	大丸 英則 (H24.3.29就任 H24.5.29退任)	加藤 巳代	阿部みち子	境 政幸	佐藤 俊之
	土田 俊枝 (H23.12.22就任)	遠藤 謙治 (H24.5.29退任)	金野日出春 (H25.12.19退任)	安原 悦子	林 久善	武山 萬
	加藤 巳代	武山 萬 (H24.5.30就任)	境 政幸 (H25.12.20就任)	菊地きいこ	大内 勲	馬場利一郎
	金野日出春	馬場利一郎	林 久善	高橋 政則 (H26.3.24退任)	蟻坂 隆	大橋巳津子
	林 久善	大橋巳津子	大内 勲	山下 英朗 (H26.3.25就任)	穂積 克彦	栗野 浩一
	大内 勲	菅原 満 (H24.3.28退任)	伊藤 敏子 (H25.12.19退任)	武山 萬	木村百合子	高橋 伸行
	伊藤 敏子	久保 智光 (H24.3.29就任)	蟻坂 隆 (H25.12.20就任)	馬場利一郎	甲谷 泰成	
	保積 克彦	金子 敬 (H23.7.26退任)	保積 克彦	大橋巳津子	津田 幸子	
	阿部 洋子 (H23.5.11退任)	久保 智光 (H23.7.27就任 H24.3.28退任)	堀野 泰子 (H25.12.19退任)	久保 智光 (H26.5.27退任)	木村 寅吉	
	堀野 泰子 (H23.5.12就任)	高橋 伸行 (H24.3.29就任)	木村百合子 (H25.12.20就任)	今野 善浩 (H26.5.28就任)	阿部 武治	
	高橋 孝司 (H23.7.26退任)		甲谷 泰成	高橋 伸行	櫻井 美子	
	甲谷 泰成 (H23.12.22就任)		津田 榮一 (H25.12.19退任)			
	津田 榮一		津田 幸子 (H25.12.20就任)			
木村 寅吉		木村 寅吉				
佐藤 修一		佐藤 修一 (H25.12.19退任)				
梶原 侃		阿部 武治 (H25.12.20就任)				
畑山 貫梁		梶原 侃 (H25.12.19退任)				

数字で見る社会福祉協議会

平成17年度 一般会計決算報告

[収入]

①会費収入	36,957,780円
②寄付金収入	12,120,002円
③経常経費補助金収入	143,941,937円
④助成金収入	8,222,586円
⑤受託金収入	127,407,972円
⑥事業収入	3,170,652円
⑦貸付事業等収入	4,769,000円
⑧共同募金配分金収入	26,327,152円
⑨負担金収入	243,200円
⑩介護保険収入	426,757,072円
⑪自立支援費収入	25,100,660円
⑫利用料収入	74,157円
⑬雑収入	18,750,976円
⑭受取利息配当金収入	47,963円
⑮経理区分間繰入金収入	10,054,846円
合計	843,945,955円



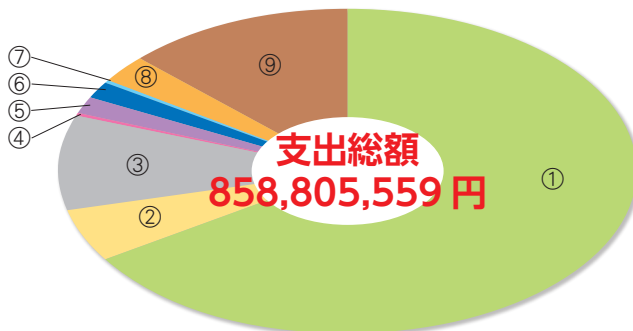
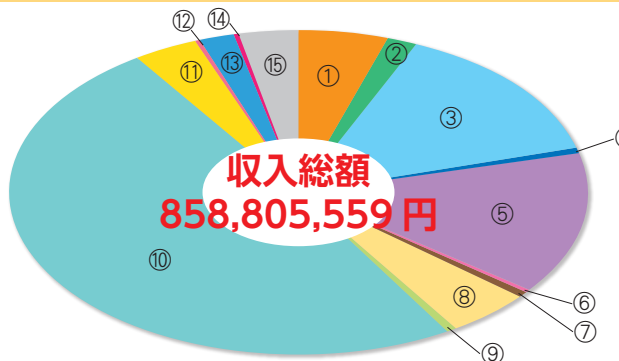
[支出]

①人件費支出	565,926,916円
②事務費支出	38,808,198円
③事業費支出	81,121,105円
④貸付事業等支出	4,995,000円
⑤共同募金配分金事業費	13,102,527円
⑥助成金支出	19,209,449円
⑦負担金支出	279,144円
⑧経理区分間繰入金支出	10,054,846円
⑨その他の支出	110,448,770円
合計	843,945,955円

平成18年度 一般会計決算報告

[収入]

①会費収入	36,388,880円
②寄付金収入	12,003,074円
③経常経費補助金収入	150,148,965円
④助成金収入	1,106,288円
⑤受託金収入	122,250,296円
⑥事業収入	1,705,673円
⑦貸付事業等収入	3,575,500円
⑧共同募金配分金収入	27,152,592円
⑨負担金収入	3,172,225円
⑩介護保険収入	418,677,400円
⑪自立支援費収入	29,365,648円
⑫利用料収入	1,200円
⑬雑収入	23,813,828円
⑭受取利息配当金収入	1,418,594円
⑮経理区分間繰入金収入	28,025,396円
合計	858,805,559円



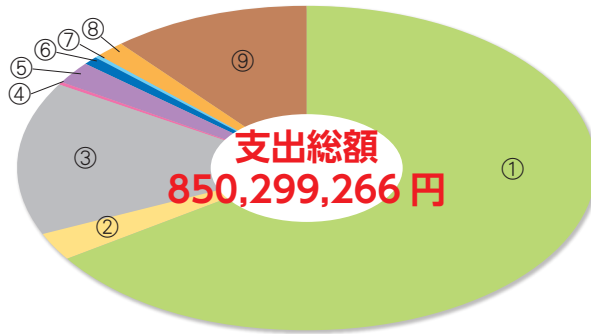
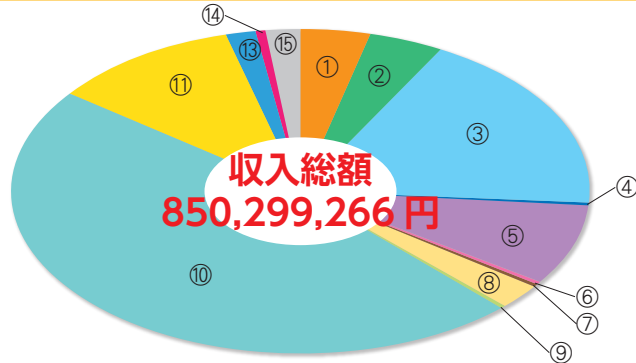
[支出]

①人件費支出	559,056,311円
②事務費支出	42,823,149円
③事業費支出	80,787,015円
④貸付事業等支出	3,227,000円
⑤共同募金配分金事業費	12,365,227円
⑥助成金支出	15,943,491円
⑦負担金支出	29,500円
⑧経理区分間繰入金支出	28,448,654円
⑨その他の支出	116,125,212円
合計	858,805,559円

平成19年度 一般会計決算報告

[収入]

①会費収入	34,885,730円
②寄付金収入	34,667,644円
③経常経費補助金収入	154,457,426円
④助成金収入	730,000円
⑤受託金収入	70,149,981円
⑥事業収入	268,900円
⑦貸付事業等収入	1,841,000円
⑧共同募金配分金収入	20,954,085円
⑨負担金収入	3,376,950円
⑩介護保険収入	404,040,482円
⑪自立支援費収入	90,204,351円
⑫利用料収入	0円
⑬雑収入	14,661,568円
⑭受取利息配当金収入	3,994,399円
⑮経理区分間繰入金収入	16,066,750円
合計	850,299,266円



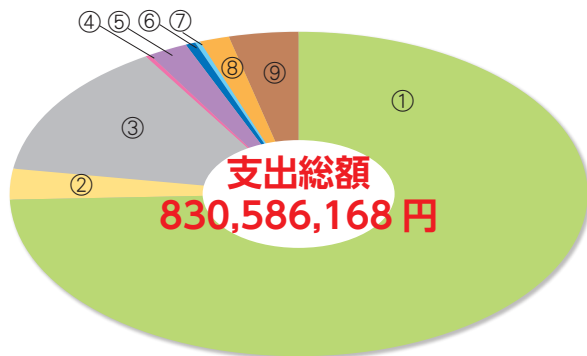
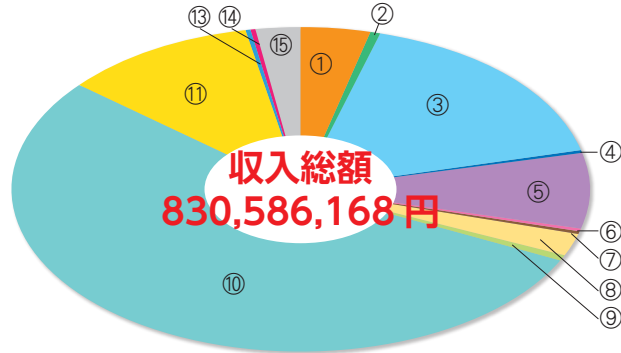
[支出]

①人件費支出	555,367,861円
②事務費支出	22,901,195円
③事業費支出	117,279,785円
④貸付事業等支出	1,700,000円
⑤共同募金配分金事業費	20,954,085円
⑥助成金支出	5,913,472円
⑦負担金支出	25,000円
⑧経理区分間繰入金支出	16,066,750円
⑨その他の支出	110,091,118円
合計	850,299,266円

平成20年度 一般会計決算報告

[収入]

①会費収入	34,047,580円
②寄付金収入	5,124,796円
③経常経費補助金収入	149,944,602円
④助成金収入	779,000円
⑤受託金収入	65,454,751円
⑥事業収入	683,000円
⑦貸付事業等収入	1,570,000円
⑧共同募金配分金収入	18,552,497円
⑨負担金収入	4,467,632円
⑩介護保険収入	419,979,615円
⑪自立支援費収入	82,740,065円
⑫利用料収入	0円
⑬雑収入	26,064,013円
⑭受取利息配当金収入	2,928,378円
⑮経理区分間繰入金収入	18,250,239円
合計	830,586,168円



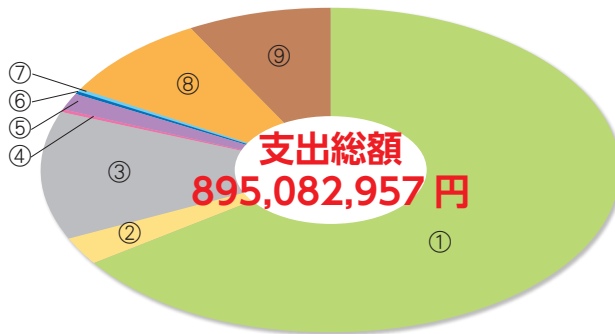
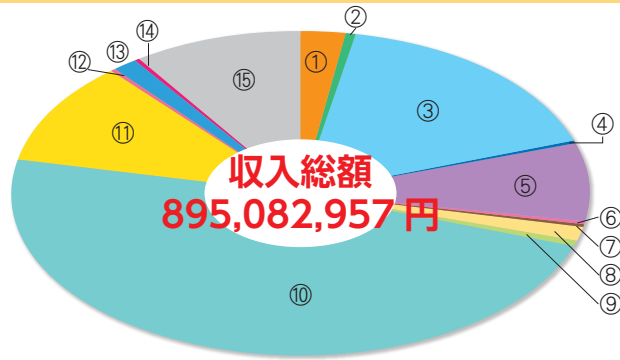
[支出]

①人件費支出	617,947,472円
②事務費支出	23,483,769円
③事業費支出	113,427,423円
④貸付事業等支出	1,735,000円
⑤共同募金配分金事業費	18,552,497円
⑥助成金支出	6,212,835円
⑦負担金支出	39,000円
⑧経理区分間繰入金支出	18,250,239円
⑨その他の支出	30,937,933円
合計	830,586,168円

平成21年度 一般会計決算報告

[収入]

①会費収入	23,795,200円
②寄付金収入	5,205,261円
③経常経費補助金収入	148,306,791円
④助成金収入	1,360,000円
⑤受託金収入	70,341,758円
⑥事業収入	1,789,450円
⑦貸付事業等収入	1,984,000円
⑧共同募金配分金収入	15,223,949円
⑨負担金収入	4,734,544円
⑩介護保険収入	431,469,335円
⑪自立支援費収入	91,536,573円
⑫利用料収入	180,012円
⑬雑収入	12,240,196円
⑭受取利息配当金収入	2,965,213円
⑮経理区分間繰入金収入	83,950,675円
合計	895,082,957円



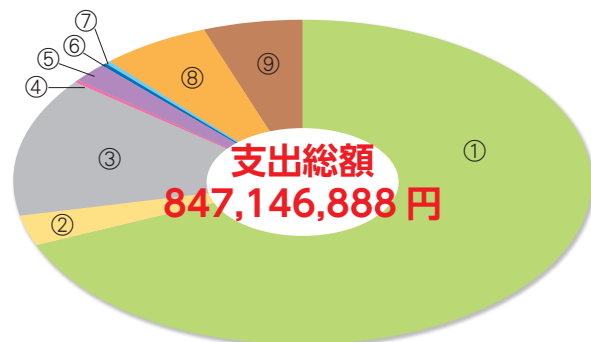
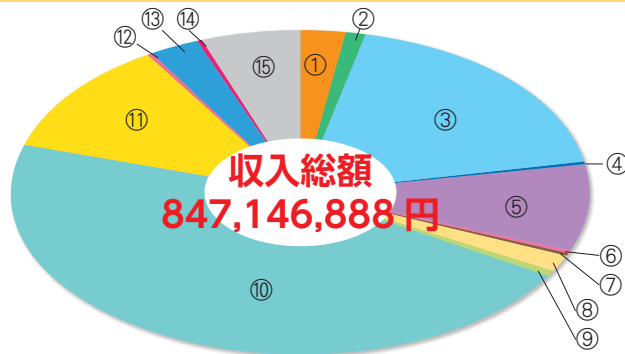
[支出]

①人件費支出	574,550,517円
②事務費支出	23,963,154円
③事業費支出	113,233,392円
④貸付事業等支出	2,490,000円
⑤共同募金配分金事業費	15,223,949円
⑥助成金支出	2,944,744円
⑦負担金支出	143,500円
⑧経理区分間繰入金支出	83,950,675円
⑨その他の支出	78,583,026円
合計	895,082,957円

平成22年度 一般会計決算報告

[収入]

①会費収入	23,056,750円
②寄付金収入	9,100,371円
③経常経費補助金収入	155,443,616円
④助成金収入	2,387,300円
⑤受託金収入	73,036,565円
⑥事業収入	780,000円
⑦貸付事業等収入	2,787,000円
⑧共同募金配分金収入	14,421,667円
⑨負担金収入	4,151,876円
⑩介護保険収入	392,349,821円
⑪自立支援費収入	95,269,326円
⑫利用料収入	1,555,035円
⑬雑収入	23,822,379円
⑭受取利息配当金収入	2,309,672円
⑮経理区分間繰入金収入	46,675,510円
合計	847,146,888円



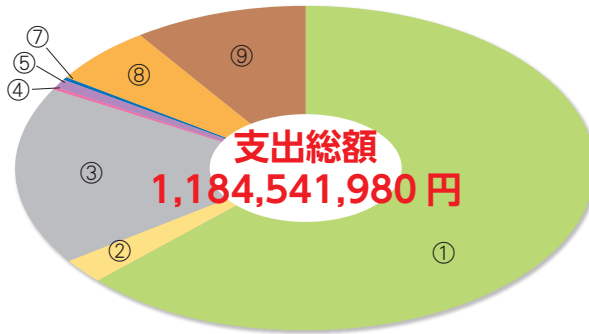
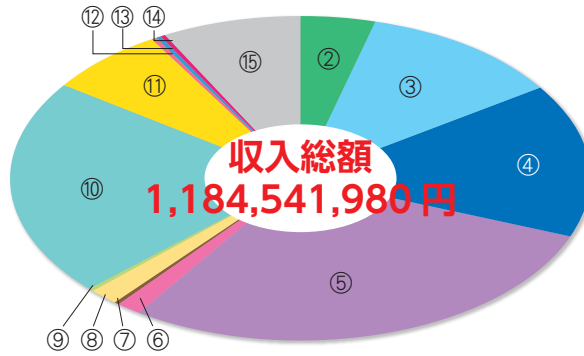
[支出]

①人件費支出	597,936,719円
②事務費支出	25,405,009円
③事業費支出	117,204,540円
④貸付事業等支出	2,810,000円
⑤共同募金配分金事業費	14,421,667円
⑥助成金支出	921,710円
⑦負担金支出	135,891円
⑧経理区分間繰入金支出	46,675,510円
⑨その他の支出	41,635,842円
合計	847,146,888円

平成23年度 一般会計決算報告

[収入]

①会費収入	0円
②寄付金収入	46,301,818円
③経常経費補助金収入	120,481,356円
④助成金収入	160,410,057円
⑤受託金収入	354,506,931円
⑥事業収入	15,416,884円
⑦貸付事業等収入	627,000円
⑧共同募金配分金収入	17,171,253円
⑨負担金収入	2,753,955円
⑩介護保険収入	289,369,097円
⑪自立支援費収入	75,725,773円
⑫利用料収入	1,358,307円
⑬雑収入	3,969,241円
⑭受取利息配当金収入	1,578,489円
⑮経理区分間繰入金収入	94,871,819円
合計	1,184,541,980円



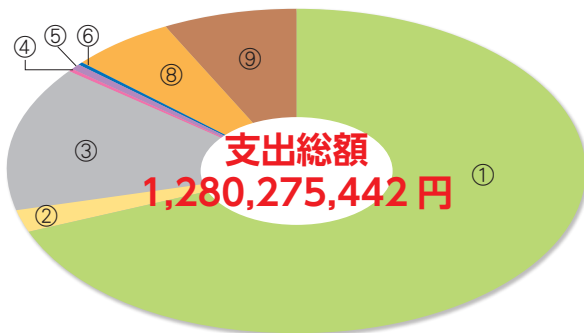
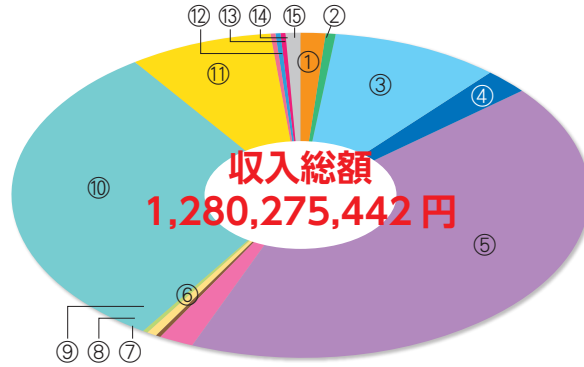
[支出]

①人件費支出	740,580,610円
②事務費支出	26,781,631円
③事業費支出	221,370,159円
④貸付事業等支出	375,000円
⑤共同募金配分金事業費	12,113,897円
⑥助成金支出	0円
⑦負担金支出	2,119,903円
⑧経理区分間繰入金支出	70,075,268円
⑨その他の支出	111,125,512円
合計	1,184,541,980円

平成24年度 一般会計決算報告

[収入]

①会費収入	15,180,700円
②寄付金収入	10,012,718円
③経常経費補助金収入	113,156,902円
④助成金収入	26,026,906円
⑤受託金収入	546,435,546円
⑥事業収入	23,364,041円
⑦貸付事業等収入	4,588,499円
⑧共同募金配分金収入	5,527,350円
⑨負担金収入	1,600,000円
⑩介護保険収入	347,632,110円
⑪自立支援費収入	102,538,806円
⑫利用料収入	3,717,343円
⑬雑収入	2,998,270円
⑭受取利息配当金収入	1,448,571円
⑮経理区分間繰入金収入	76,047,680円
合計	1,280,275,442円



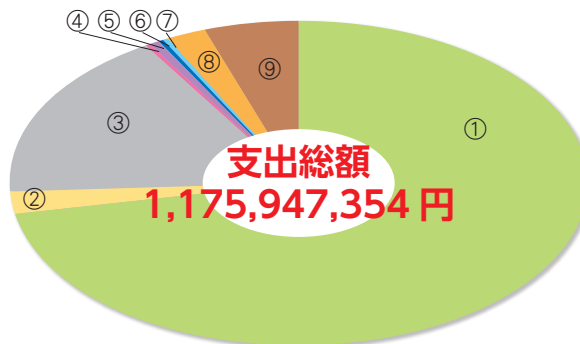
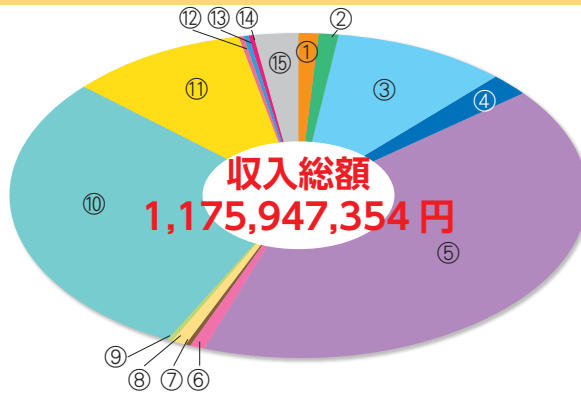
[支出]

①人件費支出	861,414,476円
②事務費支出	26,625,087円
③事業費支出	198,925,341円
④貸付事業等支出	2,714,500円
⑤共同募金配分金事業費	8,291,032円
⑥助成金支出	774,700円
⑦負担金支出	0円
⑧経理区分間繰入金支出	73,500,140円
⑨その他の支出	108,030,166円
合計	1,280,275,442円

平成25年度 一般会計決算報告

[収入]

①会費収入	16,187,650円
②寄付金収入	10,833,739円
③経常経費補助金収入	114,459,632円
④助成金収入	25,360,426円
⑤受託金収入	484,811,360円
⑥事業収入	11,592,891円
⑦貸付事業等収入	1,061,500円
⑧共同募金配分金収入	10,085,387円
⑨負担金収入	2,400,000円
⑩介護保険収入	343,328,427円
⑪自立支援費収入	119,037,510円
⑫利用料収入	3,582,933円
⑬雑収入	2,917,158円
⑭受取利息配当金収入	1,218,247円
⑮経理区分間繰入金収入	29,070,494円
合計	1,175,947,354円



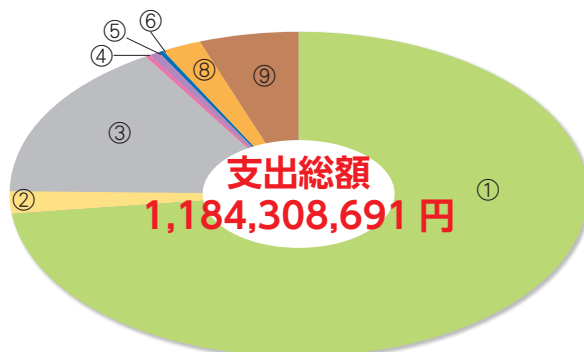
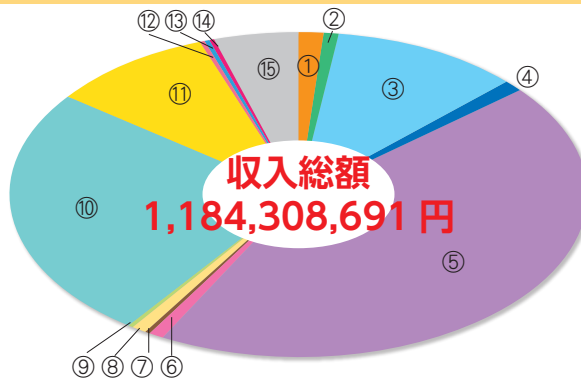
[支出]

①人件費支出	845,933,875円
②事務費支出	25,987,843円
③事業費支出	198,746,527円
④貸付事業等支出	820,000円
⑤共同募金配分金事業費	8,714,537円
⑥助成金支出	834,800円
⑦負担金支出	3,600,000円
⑧経理区分間繰入金支出	29,070,494円
⑨その他の支出	62,239,278円
合計	1,175,947,354円

平成26年度 一般会計決算報告

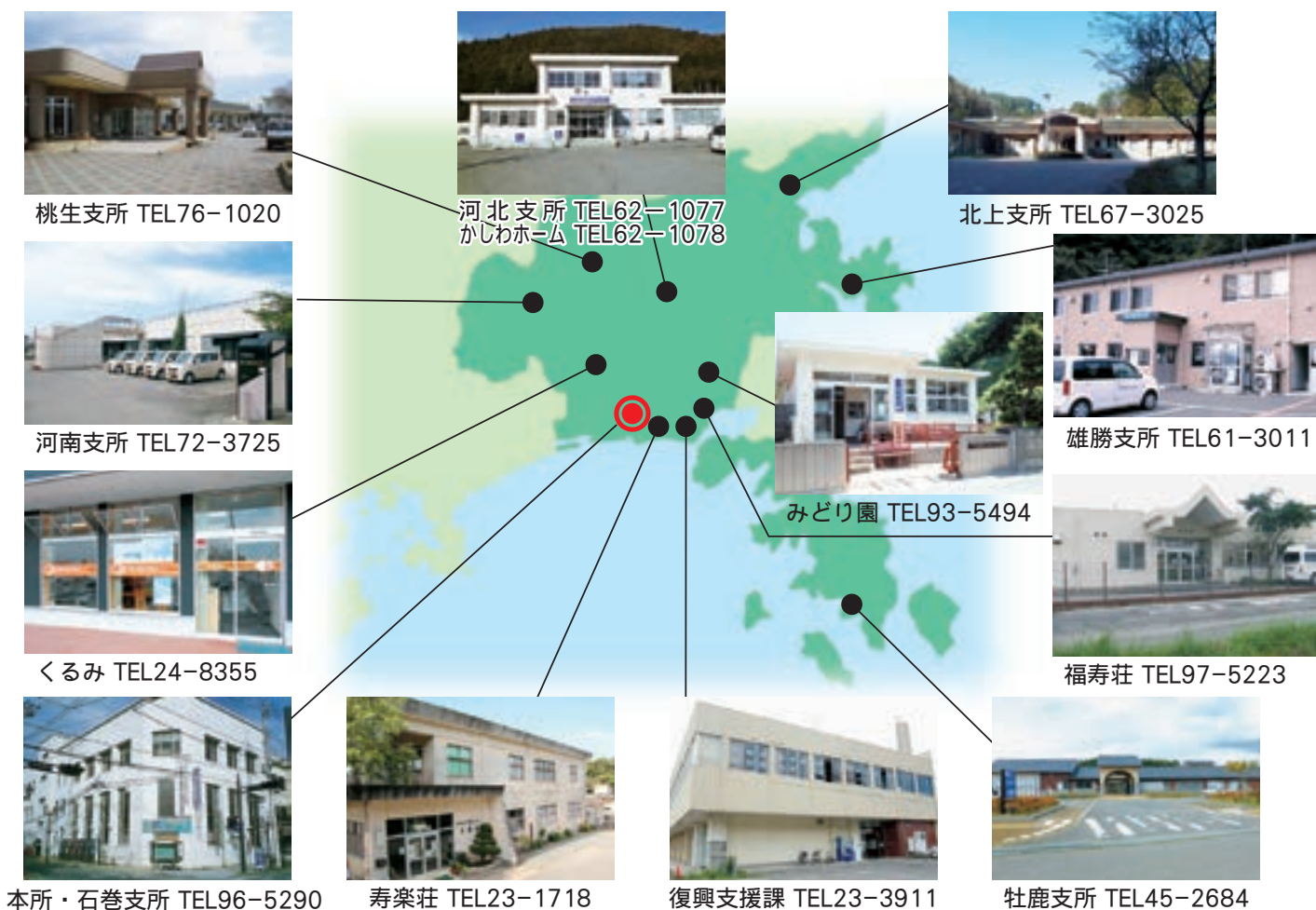
[収入]

①会費収入	16,756,650円
②寄付金収入	7,175,731円
③経常経費補助金収入	115,120,713円
④助成金収入	10,846,000円
⑤受託金収入	514,696,637円
⑥事業収入	10,941,843円
⑦貸付事業等収入	1,081,000円
⑧共同募金配分金収入	9,885,617円
⑨負担金収入	2,400,000円
⑩介護保険収入	311,615,651円
⑪自立支援費収入	121,227,029円
⑫利用料収入	3,616,018円
⑬雑収入	1,970,097円
⑭受取利息配当金収入	1,020,411円
⑮経理区分間繰入金収入	55,955,294円
合計	1,184,308,691円



[支出]

①人件費支出	831,649,924円
②事務費支出	27,925,056円
③事業費支出	181,237,054円
④貸付事業等支出	910,000円
⑤共同募金配分金事業費	8,758,589円
⑥助成金支出	850,520円
⑦負担金支出	0円
⑧経理区分間繰入金支出	37,397,626円
⑨その他の支出	95,579,922円
合計	1,184,308,691円



社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会

〒986-0822 宮城県石巻市中央二丁目4番20号(社福協ビル)
 TEL 0225-96-5290(代表) FAX 0225-96-5223

□ 河北支所	石巻市小船越字山畑417-54	TEL 0225-62-1077	FAX 0225-62-1079
□ 雄勝支所	石巻市雄勝町小島字和田18-13	TEL 0225-61-3011	FAX 0225-61-3022
□ 河南支所	石巻市前谷地字黒沢前35	TEL 0225-72-3725	FAX 0225-72-2408
□ 桃生支所	石巻市桃生町中津山字八木157-1	TEL 0225-76-1020	FAX 0225-79-1018
□ 北上支所	石巻市北上町十三浜字吉浜266	TEL 0225-67-3025	FAX 0225-67-2031
□ 牡鹿支所	石巻市鮎川浜清崎山7	TEL 0225-45-2684	FAX 0225-45-2785
□ 復興支援課	石巻市湊町一丁目1-9	TEL 0225-23-3911	FAX 0225-23-3912
□ デイサービスセンター福寿荘	石巻市新成一丁目7-1	TEL 0225-97-5223	FAX 0225-97-5223
□ 石巻市老人福祉センター寿楽荘	石巻市日和が丘一丁目4-14	TEL 0225-23-1718	FAX 0225-23-1718
□ みどり園	石巻市不動町一丁目13-27	TEL 0225-93-5494	FAX 0225-92-8755
□ かしわホーム	石巻市小船越字山畑417-54	TEL 0225-62-1078	FAX 0225-62-1079
□ 石巻市・女川町基幹相談支援センターくるみ	石巻市恵み野一丁目3-8	TEL 0225-24-8355	FAX 0225-24-8356

社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会 創立10周年記念誌

発行日：平成27年11月7日
発行者：社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会
〒986-0822 宮城県石巻市中央二丁目4番20号
電話 0225-96-5290 FAX 0225-96-5223
印刷：株式会社 鈴木印刷所
〒986-0861 宮城県石巻市蛇田字新谷地前121
電話0225-22-4101 FAX 0225-94-2354
